



興味津々！社会科見学

6月28日（金）、大丸小学校の3年生（11名）の児童たちが課外授業の一環として、社会科見学に役場を訪問しました。

これは、『児童たちの知識や経験を広げる』ことを目的に行われたものです。

児童たちは、庁内の各課をまわり、職員らから役場の仕事内容の説明を受け、メモをとったりするなど普段訪れることの少ない役場の中に興味津々な様子でした。

また、質問時間では『大崎町の人口はどのくらいですか？』、『大崎町の広さは？』や『税金って何ですか』など児童らは熱心に訊いていました。



▲社会科見学を終えて記念撮影



学校に感謝！合唱コンクール

7月5日（金）、大崎第一中学校にて、『合唱コンクール』が行われました。

今回は来年3月で閉校となる大崎第一中学校最後の合唱コンクールとあって、生徒に加え、PTA有志も出演し、さまざまな思いを胸にステージに立っていました。

また、会場の体育館には地域の方や保護者ら約70名も駆けつけ、生徒らの一体感あるハーモニーに聞き入っていました。生徒会長の島本章太郎くん（3年生）は、「今まで以上に盛り上げようと、昼休みにも練習しました。今回が最後だと思うと悲しいです。」と話していました。



▲保護者と一緒に歌う生徒たち



ゴミ減量へ！インドネシアからの視察団

インドネシア・バリ州（人口約390万人）でごみ処理と農業を担当する行政関係者ら3名が、7月7日（日）から12日（金）、（財）自治体国際化協会（C L A I R）の支援を受けて、本町のごみ分別状況や農業視察（牛の飼育、牛ふん堆肥の活用方法等）を行うため来日しました。

外国人観光客が訪れるバリ島には、ごみ分別の習慣がなく、川や海岸にはごみの散乱が多く見受けられるとのことで、「資源ごみ回収に住民が協力する姿が印象的でした。」や、「農薬の代わりに牛ふんや生ごみを肥料にしているのに驚いた。」など感想を述べ、6日間の研修視察を終えました。



▲視察研修報告会